



山岸はる美議員

町立病院の耐震診断と改築予定は 公立病院改革プラン策定し検討

議員 ①6月14日発生した岩手・宮城内陸地震では県南地域が甚大な被害を受けました。このような災害時、生命と健康を守る病院こそ災害に強い建物であることが望まれるが、葛巻病院の耐震診断の予定はあるのか。

また、建築から35年経過しているが診断を受ければ補強の必要が発生すると思うが経費の試算をされているのか。高額の経費を考えれば改築の予定は。

②これまでに何人かの医師が本町に面談に来ていますが、常勤医の獲得に至らない理由は何か。

町長 ①葛巻病院は、昭和48年に建築しましたが、経年により屋上外壁、配管等老朽化が進んでいます。建築当時60年であった耐用年数は2度にわたり短縮され、現行では39年です。

このことから病院については耐震化に取り組む必要があると考えています。また、昨年末に総務省から発表された「公立病院改革ガイドライン」を踏まえ、今年度に「公立病院改革プラン」を策定します。葛巻病院の経営改善と将来についての全体的検討を進め、質問の耐震診断及び改築等についてもプラン策定の中で検討していきます。



屋上、屋根周りは傷みが激しい。

ラン策定の中で検討していきます。耐震診断は、約1千万円と試算しています。

②医師確保については、2度の来町により就任への条件がおおむね整ったと認識していましたが、採用にいたらなかったのは、専門科がなかったことが大きな理由と思われる。

町民の医療を守るため、最重要課題と考えて可能な限りを尽くしていきます。

毛虫の大量発生による被害は

議員 昨年町中心部に大量飛来した蛾が、春先から大量発生し町内全域で毛虫の被害で困っています。町の対策として自治会経由で防除薬剤の提供がありました。健康被害と農業被害はありませんか。



食害されたカラマツ 7/7 現在

関係機関の指導で対応

町長 健康被害については健康福祉課でアンケート調査を実施し、被害の実態確認に努め、蛾の被害かと思われる患者は、約60名の来院がありました。農業被害は早春であったことからありませんでしたが、今後病害虫防除所や農業改良普及所等の指導を得ながら対応して参ります。



鈴木 満議員

消防団員定員割れ対策は

団員募集の啓発に力を入れ 事業所と連携強化も

議員 全国的にも年々減り続けている消防団員数ですが、町の消防団員定員割れの現状とそれに対する町、消防団本部の今後の対応策は。

町長 近年社会環境の変化などから消防団員の確保が全国的な課題となっている現状です。本町消防団においても20年6月現在、定員346人に対し307人で88.7%と充足率の低下が見られ今後の課題となっています。これまで団員確保については各分団が随時勧誘を実施してきているところです。



13分団の栗村団員と川村団員

町を守る若い力

消防団入団のきっかけは、小さい頃から父親が火事に出動する姿を見ていたのかっこいいかっこいいと思っていました。地元で役に立ちたいと思っていました。入団して1〜2年経ちますが地域の先輩たちとの交流の場になったり、仕事の相談をしたりプラスになることばかりです。

町長 本町における河川等の自然水利の状況は地形的な課題等から消火用として利用する場合、場所によっては取水には厳しいところもあります。火災が発生した場合、消火作業は速やかに行うために、現状の水利状況を把握するとともに、今後整備する河川等については、県や関係機関等とも協議し検討していきたい。

河川への緊急車輛 進入路設置は

議員 今春4月、小屋瀬地区で牛舎火災が発生した際、消火活動に土谷川河川からの取水で対応したが、今後、土谷川河川における進入路設置の考えは。



水利確保が重要です。

現状の河川で 対応策を訓練